

第37回 ろうきん運営委員トップセミナー

司会

2月4日(火) ホテルセンチュリー静岡(静岡市)にて、「第37回ろうきん運営委員トップセミナー」が開催されました。県内各店運営委員会の運営委員長、副運営委員長などの代表者様他、全体で約150名が参加いたしました。

仁王 尚夫 実行委員
本店・静岡中央支店運営委員長



講演 「人生100年時代に備えるために」 ～ライフプランに合わせた資産形成～ 安藤 絵理氏 静岡県金融広報アドバイザー



老後2000万円問題がメディアで取り上げられ、多くの方が老後資金に関心を持ち始めました。老後に必要な額は人によって異なりますが、将来を考えるための良いきっかけになったのではないかと考えています。皆様から若い世代の方々に伝えていただきたいことは、老後、公的年金だけでは生活資金が不足する可能性があるということです。人生100年時代—これからは長生き前提のライフプランが必要となります。早いうちから準備するよう促していただきたいと思っております。

●充実した生活を実現するために必要な3つのこと

- ①世の中の仕組みやルールをよく知ること
 - ②自分をよく知ること
 - ③お金と時間を上手にコントロールすること
- ライフイベント毎に必要な額を把握する必要があります。税制や資産運用に関する仕組みも正しく理解しましょう。

●お金を貯めるための3つの原則

- ①支出を減らす
 - ②収入を増やす
 - ③貯蓄計画を立てる(運用する)
- まずは、家計を把握し収支の見直しをしましょう。そして将来へ向けた資産形成を始めましょう。今からでも遅くありません。

●確定拠出年金(企業型・個人型)も活用しましょう。

公的年金の上乗せとして、毎月掛け金を積み立てながら自分で運用する年金制度です。所得控除、運用益の非課税、公的年金等控除もしくは退職所得控除等の税制優遇があります!



古川 正明 理事長 「会員の皆様のご幸せ」が「労金職員の幸せ」に!

「静岡ろうきん」のIT取引はインターネットバンキングを始めとし、今年度は「Rポ(リンク)」や「ろうきんアプリ(電子通帳アプリ)」、「JDebit利用者へのポイント還元」、「LINE pay資金決済サービスの口座連携を開始しています。一連の「静岡ろうきん」におけるIT関連ツールのご紹介や促進

「静岡ろうきん」のIT取引はインターネットバンキングを始めとし、今年度は「Rポ(リンク)」や「ろうきんアプリ(電子通帳アプリ)」、「JDebit利用者へのポイント還元」、「LINE pay資金決済サービスの口座連携を開始しています。一連の「静岡ろうきん」におけるIT関連ツールのご紹介や促進



最後に、ご出席の皆様には「二つひとつの取り組みが利用者のためになる」ということを各運営委員、会員に対し改めて理解を求めています。大切なのはそこに、本気度があるかどうかだと私は思っています。本日のセミナーを有意義なものにするために、皆さん一人ひとりが色々なものを吸収していただいて、持ち帰り、具体的な行動成果につなげていただきたいと思っております。

今、世の中の移り変わりが想像を超える速さであり、急速に広がるキャッシュレス決済、アプリなど、IT化の加速にも乗り遅れずについていかなければならない時代にあります。そのような中、非対面取引も広がりを見せていますが、SDGsのスローガンである「人間中心」、「誰一人取り残さない」が示すように顧客本位、お客様の立場に立つという考えのもと、これまでの労働運動の礎である足を使った活動、そして顔と顔を突き合わせ活動—「本来の意味での「世話役



「世話役」を継続することも重要ですが、これは福祉金融機関を運営していく者として、決して忘れてはならないことであると考えます。また、運営委員として「ろうきん」の運営に積極的に参画していくということについて、この二日間「運営委員会」への出席率向上という目標を掲げていただきました。会員オラルグについては、各委員の皆様、あるいは実施いただいたご自身にとってもプラスに働いているものと感じております。今後は活動の内容や質といったその本質まで踏み込んでいただく、「世話役活動」としての更なる成果を期待したいと思っております。

西崎 秋芳 実行委員長(掛川支店運営委員長)
誰一人取り残さないために!
組合員・利用者目線で行う「世話役活動」の実践

第3期中計「真価」最終年度を向かえとして、2020年度、基本的な考え方として、働く人とその家族の「笑顔」のために、会員とスクラムを組んで「真価」を発揮するという方向性を堅持し、運動と事業を継続的に発展させていくための基盤構築に継続して取り組んでいきます。また、各課題に掲げた3か年の到達指標への必達を最優先としつつ、社会的に注目が高まるデジタル化等、優先度が高まる課題に対しては適切に対応してまいります。「会員との連携や協働」については、

第3期中計「真価」最終年度を向かえとして、2020年度、基本的な考え方として、働く人とその家族の「笑顔」のために、会員とスクラムを組んで「真価」を発揮するという方向性を堅持し、運動と事業を継続的に発展させていくための基盤構築に継続して取り組んでいきます。また、各課題に掲げた3か年の到達指標への必達を最優先としつつ、社会的に注目が高まるデジタル化等、優先度が高まる課題に対しては適切に対応してまいります。「会員との連携や協働」については、



さらに深化させる取組みを實踐し、その成果を次期中期計画につなげてまいります。今回、事業計画アクションプラン(案)に関して、多くのご意見・ご質問を皆様からいただきました。運営委員会活動の見え方について、若年層へのアプローチについて、etc.。それらを反映しながら事業計画アクションプランを確定し、「真価」最終年度の取組みを全員で進めていきたいと思います。これからは、皆様とともに自信をもって福祉金融機関としての役割を發揮していきけるよう、そして働く人、その家族を、笑顔にしていけるよう、労働金庫の事業を進めてまいります。

池田 正典 専務理事
第3期中期計画「真価」の最終年度
「次期中期計画につなげる1年」へ!

さらに深化させる取組みを實踐し、その成果を次期中期計画につなげてまいります。今回、事業計画アクションプラン(案)に関して、多くのご意見・ご質問を皆様からいただきました。運営委員会活動の見え方について、若年層へのアプローチについて、etc.。それらを反映しながら事業計画アクションプランを確定し、「真価」最終年度の取組みを全員で進めていきたいと思います。これからは、皆様とともに自信をもって福祉金融機関としての役割を發揮していきけるよう、そして働く人、その家族を、笑顔にしていけるよう、労働金庫の事業を進めてまいります。

に向けた皆様の活動に感謝申し上げます。これまで「コンビニ」を中心とした提携ATMの拡大により、利便性を拡大してまいりました。また、「ろうきんアプリ」等、ATM手数料無料と相まって一層お客様の取引強化につながると考えております。一方、取引の変化により、店舗の在り方も最適化を図ることが必要となります。昨年の浜松東支店の浜松中央支店内移転や本年4月に実施を目標として、伊東支店・下田支店の営業時間変更に対処

るご理解、ご協力につきましても改めてお礼申し上げます。また、今年度は、思いやりや気遣い溢れる応対等を通じて会員の皆様やお客様との「共通価値」を創造するため、「静岡ろうきん」感動スタンダードを策定しました。会員の皆様のご幸せが「労働金庫の幸せ」となるよう職員一人ひとりが主体となり取組みを進めてまいります。まだまだ試行錯誤の中ではありますが、労金職員だけでなく運営委員の皆様と共にこれからも取組みを進進させていきたいと思います。

引続き「静岡ろうきん」が社会に役立つ金融機関であり続けるよう、今後も共に頑張つてまいります。